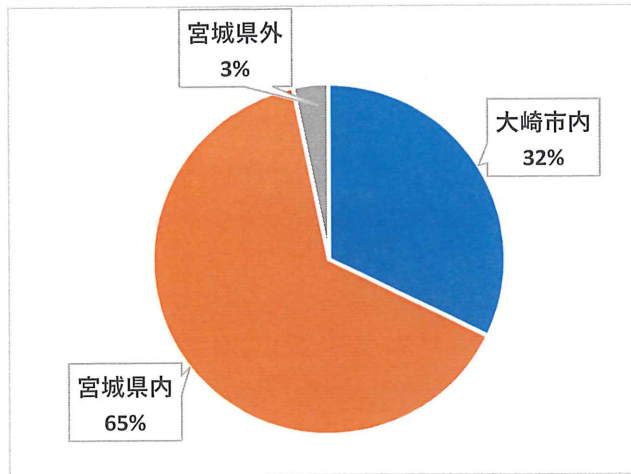
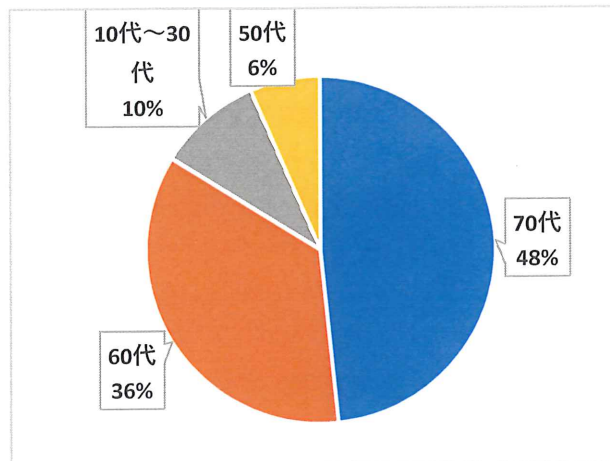


平成29年度 公開シンポジウム 大正デモクラシー期の生活と社会教育  
 —女性の視点を中心に— アンケート集計 (回答31名)

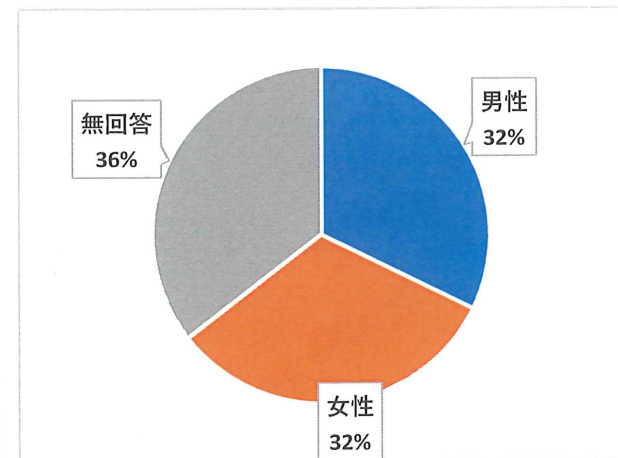
お住まい



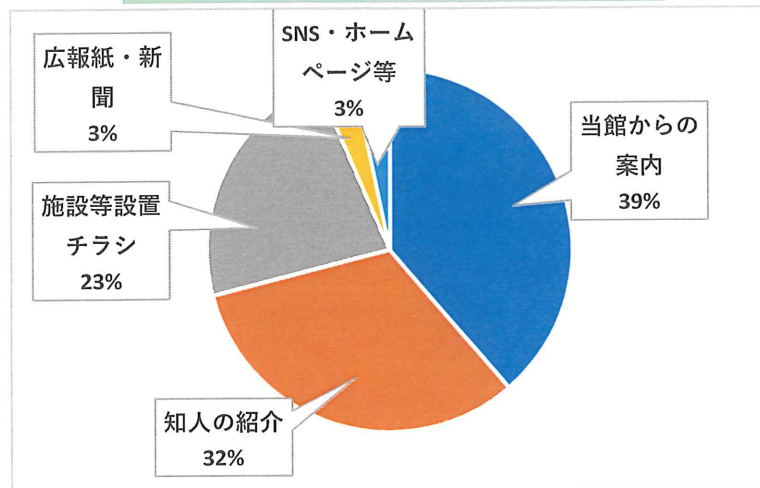
年齢



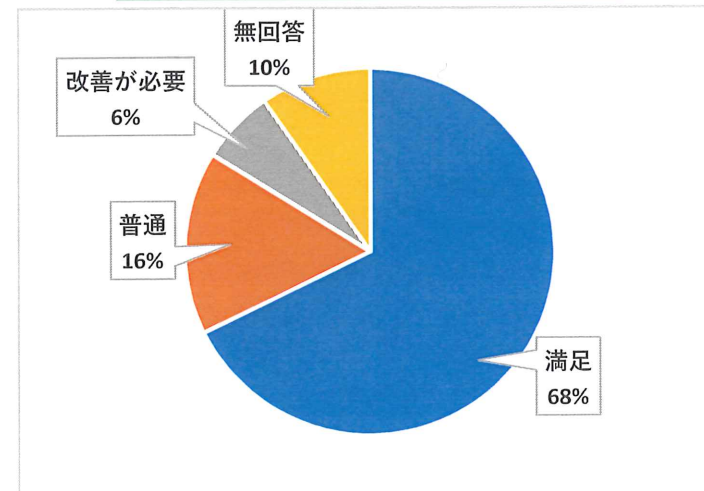
性別



このシンポジウムを何で知りましたか？



内容について



## ご意見・ご感想

◆良かったです。勉強になりましたが、やはり盛りだくさんで、ちょっと残念です。議論不十分でした。  
(60代 女性)

議論不十分、申し訳ありません。共同研究の途中経過をご報告するシンポジウムで、登壇者同士でも論点を探し合っている部分がありました。アンケートで頂いたご感想も、研究に生かしていきたいと思います。

◆八戸出身なので、羽仁もと子には関心があります。より良い生き方、社会全体の幸福追求に身を捧げた先人たちから、現代の有様を考える時、情けない思いがします。刺激的な半日でした。

(10代～30代 男性)

◆今回のシンポジウムは、今まで知らなかった人物について学ぶことができました。特に羽仁もと子という人物が「家計簿」の考案者であるということに驚きました。

(70代 女性)

◆今日的課題がなんとなく見えた。

(60代 男性)

大正デモクラシーの時代には、現代につながる生活文化を作った人物がたくさんいます。今後も企画展示、講演会、その他様々な形でご紹介したいと思います。また是非ご来館下さい。

◆大正デモクラシーは、日本の歴史の中でもっと大いに評価されてよいと思うのですが、明治の方に重きを置かれているのは残念です。そんな中で、良い企画をして下さりありがとうございます。吉野作造記念館らしい企画を、これからも分かりやすく実施してもらえたら嬉しいです。

(60代)

ありがとうございます。1018年は「明治150年」ですが、「吉野作造誕生140年」でもあります。大正デモクラシーの意義を伝えられるよう、2018年も様々な事業に取り組みたいと思います。

◆とても興味・関心のあるテーマです。私は特に羽仁もと子のことが良かったです。松野尾先生が生活というものの奥深さ、あらゆるものの原点であるという言葉が印象に残りました。

マザーテレサも常に「まずはあなたの家、家族を愛しなさい」と言っています、それと通じるものだと思います。

(70代 女性)

「生活」の大切さを見つけたのが大正デモクラシー運動の重要な成果だと思っています。今後の記念館事業でも大切にしたい考え方だと思っています。

ご協力ありがとうございました。今後の運営に活かしてまいります。